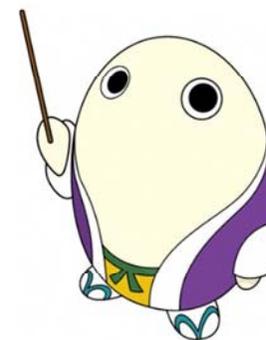


平成28年度 一般会計決算の概要



京 都 府



京都府広報監
まゆまる



平成28年度決算の特徴【決算収支①】

昨年度と比較して歳入歳出とも規模は縮小

• 歳入総額 (A)	9,428億45百万円
	([㊦] 9,892億15百万円)
• 歳出総額 (B)	9,382億45百万円
	([㊦] 9,846億98百万円)
• 差引 (C)	46億00百万円
• 翌年度への繰越財源 (D)	39億10百万円
• 実質収支 (C-D) (E)	6億90百万円
• 前年度実質収支 (F)	6億83百万円
• 単年度収支 (E-F)	7百万円



平成28年度決算の特徴【決算収支②】

<歳入>

- ▶ 平成25年度から3年連続で増収だった府税収入が4年ぶりに減収
- ▶ 府税に加え地方交付税や臨財債等を含めた一般財源収入が約281億円と大幅減少

<歳出>

- ▶ 府税収入の減少により税交付金等については、約150億円減少
- ▶ 一方で、社会保障関係の義務経費は約61億円増加
- ▶ 府債管理基金積立金の抑制等により収支の黒字を確保



税収が減少に転じた一方で義務経費は引き続き増加
今後も非常に厳しい財政運営が続く見通し

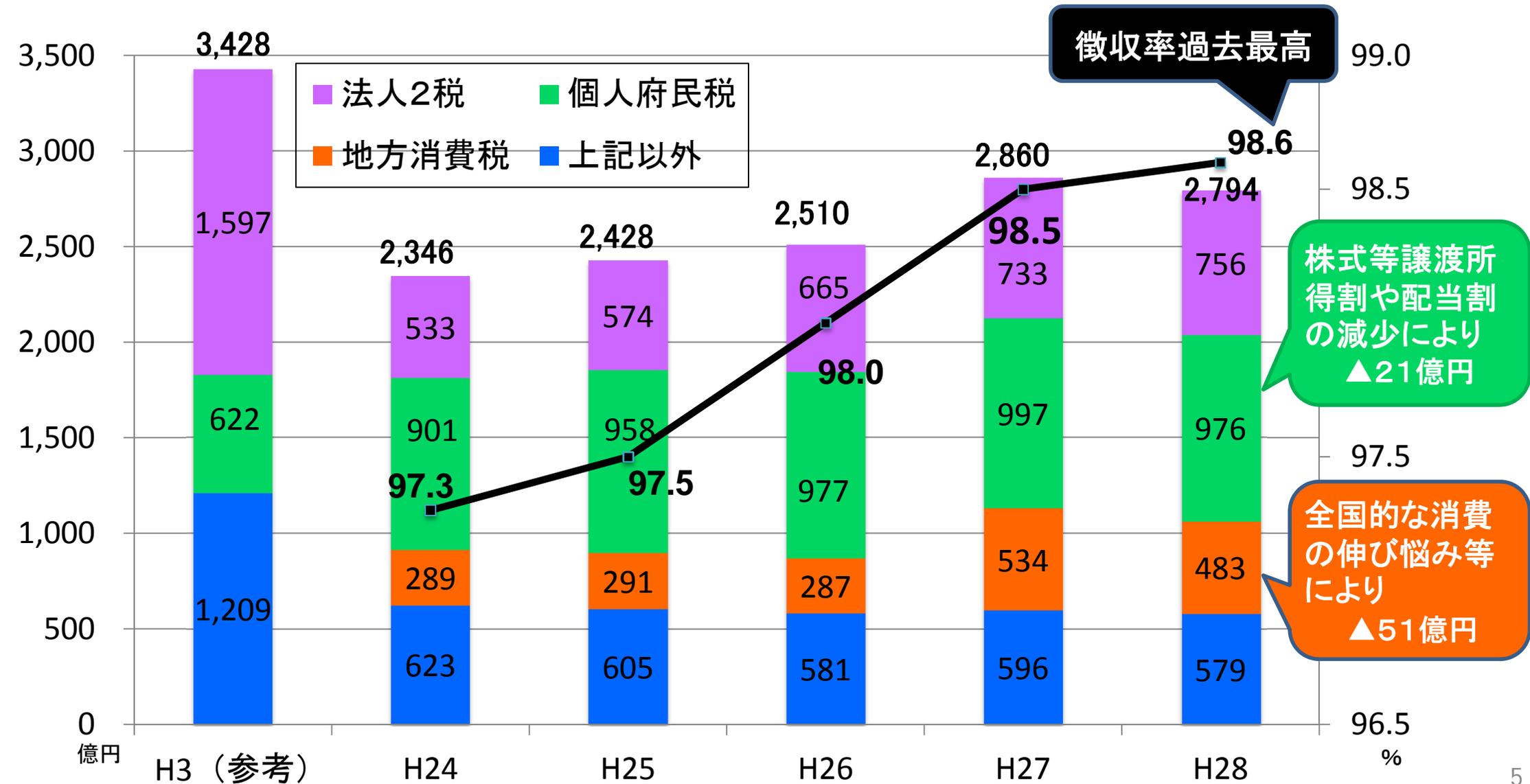
歳入関係



平成28年度決算の特徴【府税収入】

府税収入は4年ぶりに減収（約66億円）

➡ 税制改正による影響を除けば平成26年度並の水準





平成28年度決算の特徴【府債】

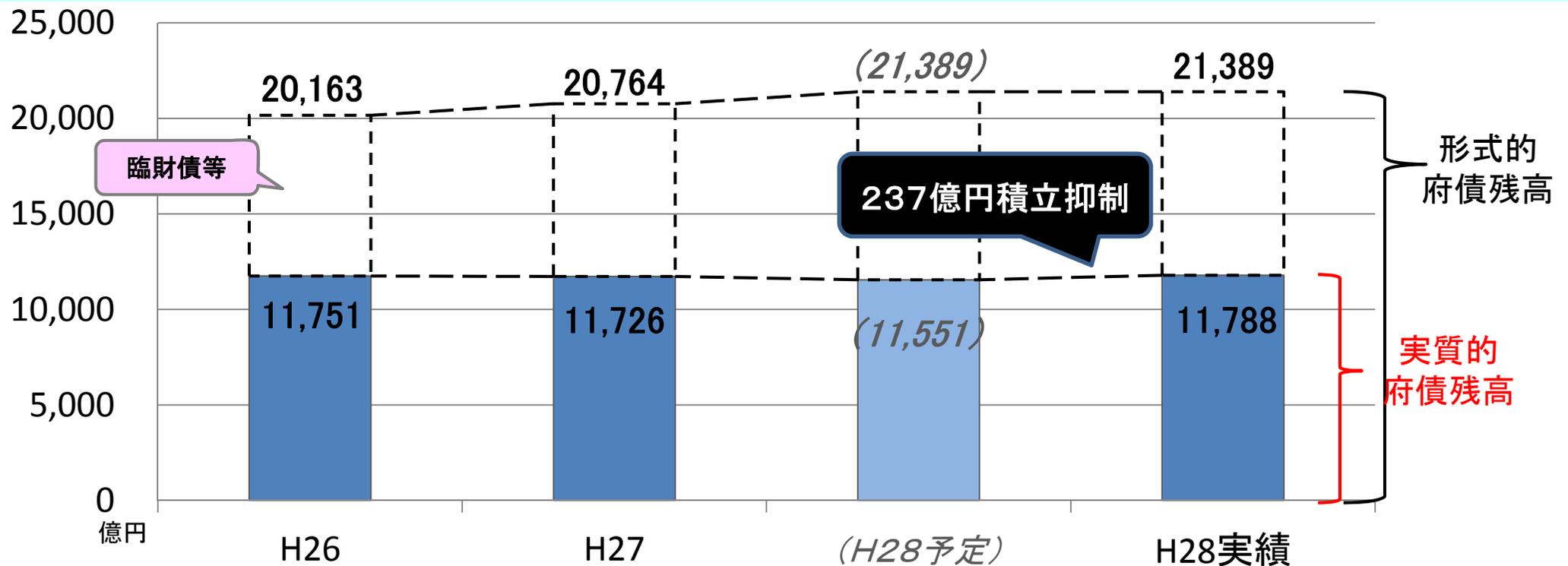
実質的府債残高は微増したものの⑳末に向けて抑制の見通し

▶ **実質的府債残高** (臨時財政対策債、災害関連の起債等及び府債管理基金残高を除く)

⑳末 1兆1,726億円 → ㉑末 1兆1,788億円 (+62億円)

※ 当初は、地方財政計画の伸び (+6.1%) を踏まえた税収増を見込み、実質府債残高の減少を予定していたが、税収減に伴い府債管理基金への積立を抑制したことで残高は微増

【参考】㉑末見込 1兆1,704億円 (▲84億円)



歲 出 関 係

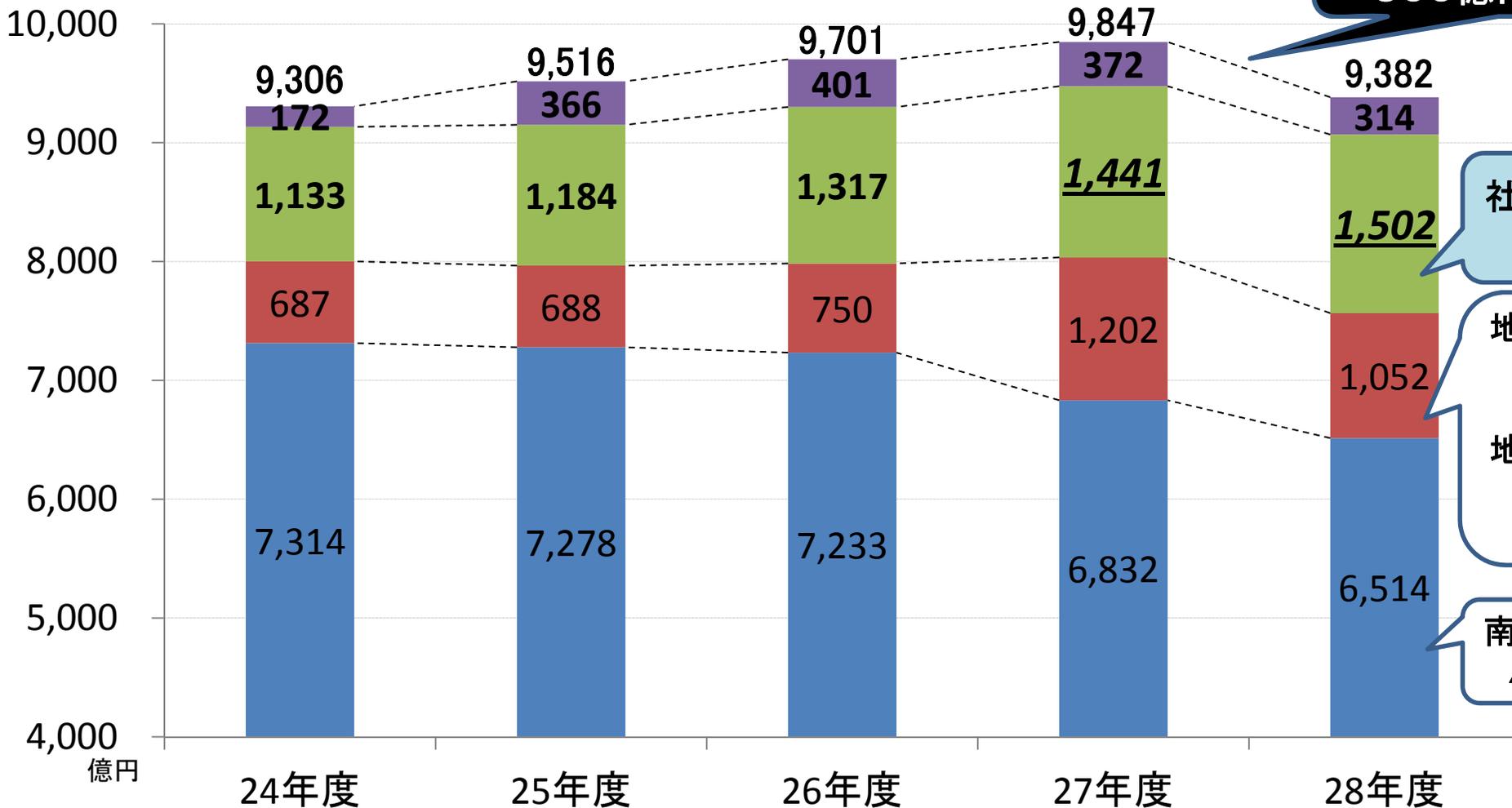


平成28年度決算の特徴【歳出①】

安心・安全の確保のための防災・減災対策への重点投資や引き続き増加する社会保障経費の影響により大変厳しい状況

■ その他 ■ 税交付金等 ■ 社会保障経費 ■ 防災・減災対策

防災・減災対策に毎年300億円以上支出



社会保障経費 +61億円

地方消費税 都道府県清算金 ▲72億円
地方消費税 市町村交付金 ▲53億円

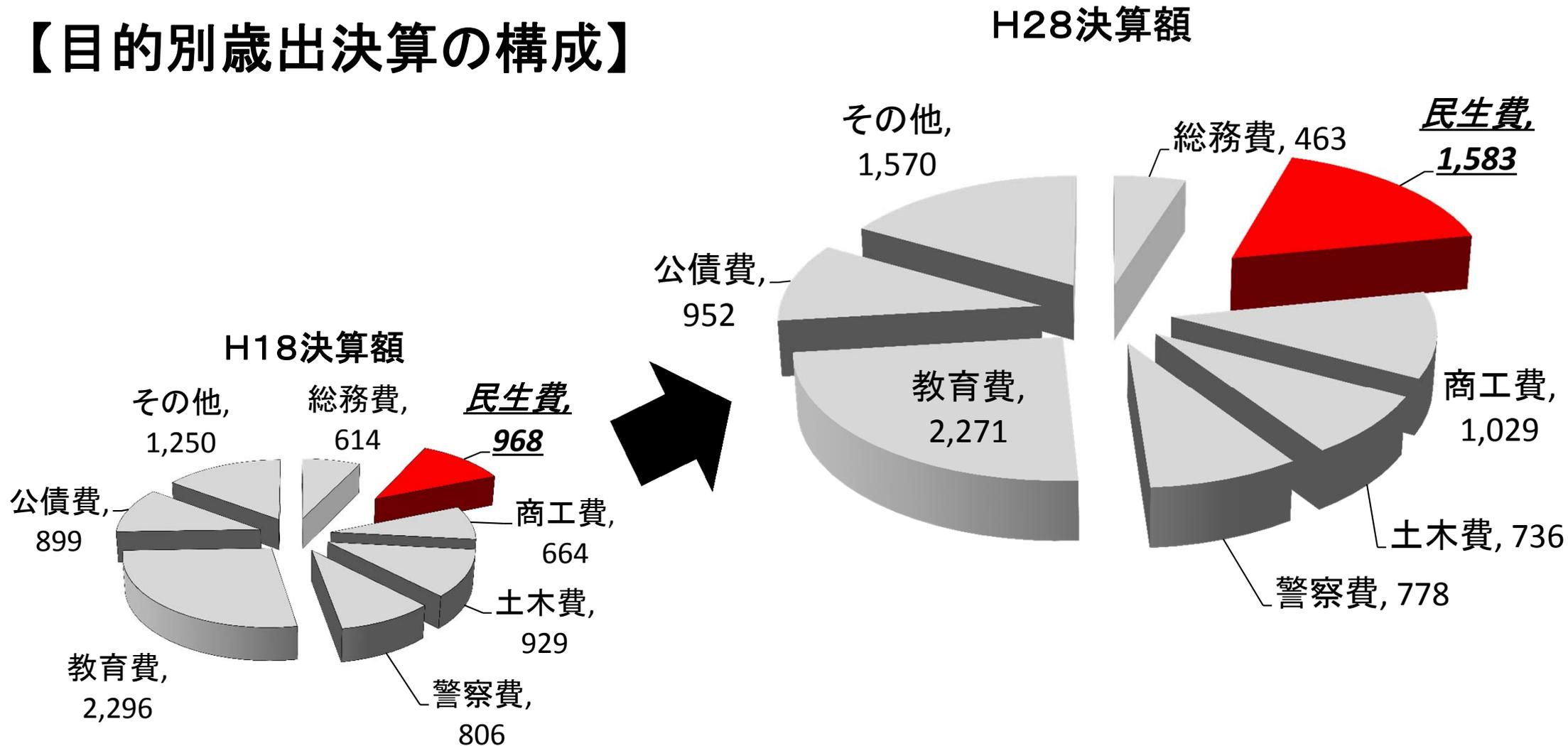
南警察署建設 ▲21億円 など



平成28年度決算の特徴【歳出②】

10年前の決算と比較しても社会保障経費の増加が顕在化
➡ 民生費が大幅に増加（615億円：164%）

【目的別歳出決算の構成】



平成28年度の 取組みと主な成果



平成28年度の主な取組みとトピック

災害からの安心・安全の確保

約314億円

- ▶ 総合的な防災・減災対策（由良川・桂川緊急治水対策ほか）

地域創生の実現

約292億円

- ▶ 人づくり（丹後10次産業化拠点づくりほか）
- ▶ こども総合対策（子育て医療支援ほか）

地域経済の活性化

約971億円

- ▶ 中小企業伴走支援（企業の森ほか）

京都力の発揮

約353億円

- ▶ 文化振興（京都文化カプロジェクト2016-2020ほか）
- ▶ 基盤整備（高速道路網整備ほか）
- ▶ もうひとつの京都（森の京都博ほか）

共生社会の実現

約39億円

- ▶ 女性・障害者・環境との共生（女性活躍支援拠点「京都ウィメンズベース」ほか）

その他（豊かな森を育てる府民税の創設）



災害からの安心・安全の確保

防災基盤特別強化事業

約 3 1 4 億円

- ▶ 台風等の集中豪雨、地震・津波対策など総合防災・減災対策を推進

【3年連続の豪雨対策を踏まえた取組】

24~累計約1,624億円

- ▶ 由良川・桂川の緊急治水対策を着実に促進（総事業費 約600億円）
28年度は新たに由良川輪中堤、桂川三川合流地区の整備を実施
- ▶ 国・府・市が連携して総合的な治水対策を実施
弘法川・法川（福知山市）（総事業費 約200億円）



原子力防災対策事業

- ▶ 高浜原子力発電所の再稼働を見据えた府民の安全確保に万全の備え
 - ・ 災害避難道路の整備促進（府道小浜綾部線、府道田井中田線）
 - ・ 屋内退避施設の放射線防護対策（5箇所）、要配慮者施設の避難用車両（8台）の整備



地域創生の実現（人づくり）

全国トップクラスの地方創生関係交付金を活用した事業展開

丹後王国「食のみやこ」開園後入園者100万人突破

約33億円

- ▶ 丹後地域の食文化を活かした「10次産業化拠点」としてリニューアル(27年4月) 魅力を高める施設整備の実施のほか、食人材の育成による農業ビジネスの推進

「移住促進条例」に基づくサポートを開始

移住者数326人
前年度比113%

- ▶ 京都移住コンシェルジュによる移住相談 900件
- ▶ 京都JPと連携した空家解消対策の実施 登録空家の約2割がマッチング

次世代下宿「京都ソリデール」事業を開始

- ▶ 自宅の空き室を、大学生等へ低廉な家賃で提供することで、高齢者との同居・交流を図り、大学生等の定住を促進

※このほか、29年度に繰越し実施中

- ・高齢者共生型まちづくり(CCRC)
- ・北部産業創造センター(仮称)
- ・けいはんなプラザ 等

1(ひと)まち1(ひと)キャンパス事業を開始

- ▶ 大学と市町村が連携し、当該市町村をフィールドとして取り組む大学等の研究活動等のプロジェクトを支援(16大学、13市町)



地域創生の実現（こども総合対策）

妊娠・出産から子育てまで切れ目ない支援

約259億円

全国トップクラスの子育て・教育環境

子育て医療費助成

約19億円

第3子以降保育料無償化

約6億円

私立高等学校あんしん修学支援
府立高校生等修学支援

約100億円

経済的負担を軽減

全国初！

京の子育て応援融資 [Tomorrow-loan]

10億円

- ▶ 新たに低利融資により子育て世帯の経済的負担を軽減



きょうと子育てピアサポートセンター（平成28年8月開設）

- ▶ 市町村の「子育て世代包括支援センター」の立ち上げ支援
- ▶ 妊娠・出産セーフティコールの開設

20市町村設置



地域経済の活性化

中小企業などへのきめ細やかな支援

約 9 7 1 億円

中小企業伴走支援

企業の森

39グループを形成

- ▶ 中小企業のグループ化から設備投資・販路開拓まで一貫支援

中小企業融資

- ▶ 中小企業融資による下支えにより、開業・経営承継に寄与
開業・経営承継支援資金融資件数 121件 (対^{②6} 233%)



中小企業応援隊

- ▶ 中小企業応援隊による伴走支援により、倒産件数が減少
^{②2} 478件 ↓ ^{②8} 227件 (対^{②2}対比 △52.5%)

けいはんな学研都市の発展

- ▶ 京都大学大学院農学研究科附属農場などが新たに立地

立地施設数 ^{①9}106施設 ↑ ^{②8}133施設 (対^{①9}対比 125.5%)



京都力の発揮（文化振興）

文化首都・京都の実現

約60億円

文化庁地域文化創生本部設置（平成29年4月）

- ▶ 文化による地方創生が京都から全国へ展開



「京都文化カプロジェクト2016-2020」スタート

- ▶ 2020年に向けた政府主催のキックオフイベント
「スポーツ・文化・ワールド・フォーラム」を開催（平成28年10月）
- ▶ 文化による国づくりに 一丸となって 取り組むことを宣言（京都宣言）

約3,500人参加



京都学・歴彩館グランドオープン（平成29年4月）

京都文化の新たな交流・発信拠点の完成

- ▶ 京都関係資料などを収集・保存・公開
- ▶ 府立大学と連携し京都学を研究・発信

約100万点





京都力の発揮（基盤整備）

京都府大交流時代の促進

約262億円

京丹後市から木津川市までの高速道路軸が完成

約140km

- ▶ 山陰近畿自動車道(野田川大宮道路)

【平成28年10月開通】

- ▶ 新名神高速道路(城陽JCT・IC～八幡京田辺JCT・IC)

【平成29年4月開通】

府域の高速道路の約86%が完成



京都舞鶴港の充実

過去最高

- ▶ コンテナ取り扱い量 ⑳ 8,620TEU ㉑ 11,493 TEU

取扱貨物量 7年連続1,000万トン超え

- ▶ クルーズ船寄港回数 ㉒ 8回 ㉓ 17回 ㉔ 約40回予定



コスタ ネオロマンチカ

乗客定員: 1,572人
乗組員数: 622人
総トン数: 56,769トン



京都力の発揮(もうひとつの京都)

地域の魅力発信

約 3 1 億円

観光地域づくりの総合プロデューサー「海・森・お茶の京都DMO設立」

▶ DMOを核とし「和の文化の源流」

「森の生活文化体験」「宇治茶ブランドの確立」

など地域の魅力を活かした地域づくりを展開

海の京都



森の京都



お茶の京都



「森の京都博の開催」

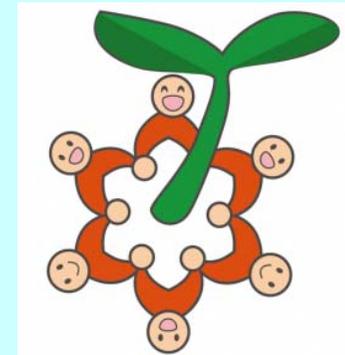
参加者 約145万人

▶ 皇太子殿下をお迎えし第40回全国育樹祭を開催

▶ 府中部6市町において、交流型イベントを1年を通して開催

・キッズダンスフェスティバル(平成28年7月～8月)

・テイクオフイベント～森の京都春の祭典～(平成29年3月)



府内全体の観光消費額

いずれも過去最高

・観光消費額 ⑳約1兆264億円

㉑約1兆1,447億円(+約1,183億円)

・外国人宿泊客数 ㉒約322万人

㉓約326万人(+約4万人)



共生社会の実現

「女性の輝き」支援

約 8 億円

女性活躍支援拠点「京都ウィメンズベース」開設（平成28年8月）

労働局、府、京都市、経済団体が一体となって女性の活躍を支援

▶ 企業に対する女性の活躍促進のための事業主行動計画の策定支援



100人以上300人以下
の企業全社訪問等完了

「障害者の輝き」支援

約 1 5 億円

サン・アビリティーズ城陽ナショナルトレセンに指定（平成28年7月）

▶ パラ・パワーリフティングのトップアスリートの支援を強化するほか、
障害者スポーツの裾野拡大と府民理解促進に向けた取組を実施



環境との共生

約 1 6 億円

再生可能エネルギーの導入等の促進に関する条例施行（平成28年1月）

▶ 府内家電店員等を「京都再エネコンシェルジュ」に認証（145名）、地域の相談窓口

全国初！



その他（豊かな森を育てる府民税の創設）

▶ 28年度から「豊かな森を育てる府民税」を創設し、土砂災害の防止、水源かん養など森林の多面的機能を維持・増進するための取組を実施

約5億円

森林の整備や保全を進めるための事業

未来へつなぐ安心・安全の森づくり事業

18箇所

▶ 山地内で危険木や流出土砂の撤去を行い、流木災害の未然防止等保安林機能の向上



森林資源の循環利用・森林の啓発事業

公募型木のまちづくり推進事業

14箇所

▶ 駅待合室や保育園等の木造化や木質化を支援



豊かな森を育てる府民税市町村交付金

71事業

▶ 市町村が地域課題に対して創意工夫して行う取組を交付金事業として支援

府民利用施設の充実

京都駅前運転免許更新センター及び 京都駅前地域防犯ステーション

平成28年9月開所

- ・優良運転者と高齢者の免許更新、免許証の再交付、国外免許証の交付などの手続きが可能

民間活力導入

(建設費 約47億円
28決算 約7.8億円)



府立植物園(北泉門)

平成29年4月27日開門

- ・北山文化環境ゾーンの回遊性を高めるため、4つ目となる東の新たな玄関を整備

(総事業費 約1億円
28決算 約0.3億円)



京都トレーニングセンター

平成28年7月オープン

- ・合宿しながら近隣大学等と協働した医科学的トレーニングが可能な施設

(総事業費 約21億円
28決算 約1.7億円)



一般国道163号線(北大河原BP)

平成28年8月28日開通

- ・幅員狭小、線形不良区間を解消し、交通を円滑化
安全な生活環境と良好な走行環境を確保

(総事業費 約80億円
28決算 約10億円)

